2025 年 1 月 16 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証プライム市場)

「未来創生 3 号ファンド」
放射冷却フィルムを提供する SPACECOOL 株式会社への投資実行

―熱課題をゼロエネルギーで解決―

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2021 年 10 月に設立された「未来創生 3 号ファンド」が、SPACECOOL 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:未光 真大、以下、SPACECOOL 社)への投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせいたします。SPACECOOL 社は今回の調達資金を活用し、研究開発・生産体制、国内での販売体制の強化に加え、熱課題がより深刻な海外地域での事業開発、生産拠点の開拓を行ってまいります。

■投資先企業の概要

SPACECOOL 社は、2021 年に創業し、「世界に木陰の涼しさを」をミッションに掲げるクライメートテック企業です。独自の多層構造により熱を赤外線に変換して宇宙に放射することで、直射日光の下でもゼロエネルギーの冷却を実現する放射冷却素材「SPACECOOL」の開発・販売を行っています。これにより、地球温暖化が進行する中で増加している屋外機器の故障や寿命低下を回避することに加え、建物の空調コストの削減に寄与します。

熱課題をゼロエネルギーで解決し、「世界に木陰の涼しさを」作り、地球温暖化対策へ貢献するとともに、世界へも同素材を広げていき、日本を代表して世界で勝ち抜く企業になることを目指しております。

URL：https://spacecool.jp/



放射冷却素材「SPACECOOL」

■「未来創生（1 号）ファンド」、「未来創生 2 号ファンド」および「未来創生 3 号ファンド」の概要

未来創生（1 号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。そして、2021 年 10 月から未来創生 2 号ファンドの 5 分野 に加えて、

「カーボンニュートラル」を投資対象とし、スパークスの子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社 をファンド運営者とした未来創生 3 号ファンドの運用を開始しました。2024 年 12 月末時点の運用資産残高は、1 号、2 号および 3 号をあわせて、1,096 億円となっています。
未来創生ファンドの投資実績：https://mirai.sparx.co.jp/investment/

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com